

こんにちは！ こしいしかつ子

発行元：奥石且子 横浜市栄区公田町514小岩井ビル2F
TEL045-894-9956 FAX045-894-9957
<http://www.koshiishikatsuko.jp/>



働く女性・母親の目線で地域の課題を市政に届けます- **です!!** [レポートNo. 1]

一人も見逃さない（その1）

「民生委員・児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」は、民生委員制度90周年記念事業として平成18年3月より開始された運動です。

災害時におけるニーズの把握や、地域コミュニティによる安否確認体制と支援体制の構築、防災・減災に向けた啓蒙活動など、地域住民や関係機関と協働して安全で安心なまちづくりをめざすものです。この動きを受け、各地域で地域の災害対策について多くの議論や活動が行われるようになってきています。

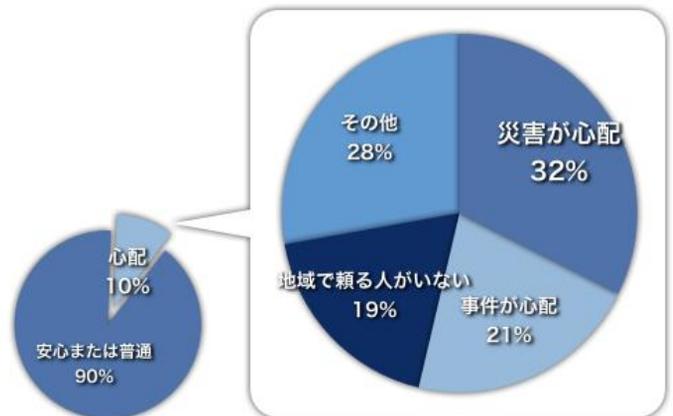
そのひとつとして、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯、障害者、子育て家庭といった「要支援者」に対しての日常的な見守りと生活交流を足がかりとした、自然災害時における安否確認体制の整備などもすすめられています。

栄区区民意識調査によると「地域の安心感」についておよそ9割の方が「安心または普通」と感じていることがわかっています。

しかし、およそ1割の方々が「安心できない」と回答され、その理由として「災害」をあげました。

この不安に感じている1割の声に聞き、応える努力が、私の「一人も見逃さない」活動の第一歩だと考えています。

栄区区民意識調査「地域の安心感」について



1位-災害（32%） 2位-事件（21%）
3位-地域で頼る人がいない（19%）



【こしいしかつ子プロフィール】 昭和43年（1968）横浜市栄区上郷町生まれの2児の母●横浜市立犬山小学校（現上郷小）上郷中・県立上郷高校（現横浜栄）・川村学園女子短期大学英文科卒業●古美術から現代アートまでを対象としたイベント企画に従事●その後前横浜市会議員つのだ宏子事務所に勤務●参議院比例区支部長秘書として子育てに市民活動にと奮闘
【現在】 自民党横浜市連青年局次長●さかえ福祉まごころの会理事長●国際芸術家センター元理事●環境健康学トランスレーター●アフリカエイズ孤児を支援する女性の会会長●学校給食と子どもの健康を考える会会員●三味線音楽普及の会会員 他



一人も見逃さない (その2)

「民生委員・児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」は、民生委員制度90周年記念事業として平成18年3月より開始された運動です。

これと並行して、栄区でも「地域福祉計画」が第1期から第2期へと進み、社会福祉協議会と一体化し、地域の福祉保健活動を推進しています。

→ <http://www.city.yokohama.jp/me/sakae/fukuho/2chifuku/>

昨年秋には、地域サロン「いこい」が「お互いさまねっと公田町団地」とともに読売新聞にも取り上げられています。

「高齢者が集会所などで交流を図る「地域サロン」が県内で増えている。民生委員らに頼りがちだった独居老人の「見守り」を、高齢者同士で「見守り合う」仕組みに変えるのが狙いで、健康面などの異変の早期発見も期待されている」(読売新聞 2010年9月22日)

→ <http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/page.jsp?id=31149>

1964年に入居が始まった同団地(全1160世帯)には現在、500人以上の高齢者が暮らす。独居も多く、大野理事長によると、ここ数年、孤独死が増え、3件が報告された月もあった。

住民の努力と工夫で、悲惨な孤独死はなくせると思った」と大野理事長。サロンに顔を出してもらえれば健康かどうかもわかる。外出できない高齢者には、こまめに電話している。運営が始まって約半年、孤独死は起きていない。

横浜市社会福祉協議会によると、横浜市内には地域サロンが274か所あり、4年前に比べて39か所増えた。(同記事より引用)



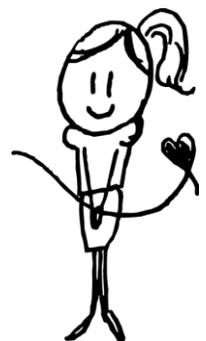
また、上郷西地区では「支えあいネットワークハンドブック」を作成するなど、さまざまな地域で、皆様の手による「一人も見逃さない」活動が形となってあらわれはじめています。

大規模災害を想定して実施される地域防災拠点避難訓練なども「自分たちの街は自分たちの手で守る」という「自助」の考えに基づいた実践です。

自助に加えて「共助・公助」の考えが健全に機能することで一人一人の命を守ること、コミュニティを守ること、街を守ることにつながります。

このほか、災害時を想定した行事は、顔をあわせたふれ合いの中で絆を深める大切な地域イベントでもあります。

一人でも多くの方が積極的に関わっていただけるよう願っています!



関心と感動を